

# 「令和7年度学校教育に関するアンケートのまとめ」

令和8年3月 塚田小学校

## (1) 実施項目と結果

		A	B	C	D	E
		A	B	C	D	E
1	学校は、学校目標「自ら学び、心豊かにたくましく生きる児童の育成」を 目指して教育活動を行っている	R7年度 30.8%	58.2%	1.7%	1.2%	8.1%
		R6年度 27.0%	61.8%	1.8%	1.0%	8.4%
2	学校は、学校だより・ホームページ・メール配信等で、 保護者や地域の方に対して情報提供を適切に行っている	R7年度 56.3%	40.6%	1.7%	0.7%	0.7%
		R6年度 55.1%	42.1%	1.1%	0.3%	1.4%
3	学校は、いじめのない学校作りに取り組んでいる	R7年度 18.4%	56.6%	2.6%	2.4%	20.0%
		R6年度 17.8%	52.4%	5.9%	1.9%	22.0%
4	学校は、スクールカウンセラーに相談したい時にどうすればよいかを わかりやすく説明するなど、お子さんや保護者にとって悩みや困った事を 相談しやすい環境づくりに努めている	R7年度 36.8%	51.6%	2.6%	2.1%	6.9%
		R6年度 28.5%	54.5%	5.1%	1.4%	10.5%
5	学校は、分かりやすく工夫して授業を展開している	R7年度 41.1%	47.7%	2.4%	1.2%	7.6%
		R6年度 36.0%	52.3%	2.8%	1.0%	7.9%
6	学校は、ICT機器（タブレット端末・電子黒板等）を 学習に適切に活用している	R7年度 40.6%	45.6%	4.5%	1.2%	8.1%
		R6年度 39.0%	46.7%	5.4%	1.9%	7.0%
7	学校は、お子さんの体力向上に対する指導を適切に行っている	R7年度 32.9%	53.0%	4.0%	1.0%	9.1%
		R6年度 24.5%	58.8%	7.3%	1.0%	8.4%
8	学校は、授業参観・懇談会・教育相談等、 保護者と学校が話し合う機会を適切に設けている	R7年度 53.8%	43.0%	1.0%	1.0%	1.2%
		R6年度 49.9%	45.9%	1.5%	0.1%	2.6%
9	学校は、PTAや地域との連携を図っている	R7年度 41.3%	48.6%	1.0%	0.5%	8.6%
		R6年度 37.6%	52.0%	1.1%	1.0%	8.3%
10	学校は、教室環境・廊下・掲示物等、 お子さんの学びの場としての環境づくりに努めている	R7年度 44.4%	50.8%	1.7%	0.0%	3.1%
		R6年度 38.2%	55.3%	2.3%	0.6%	3.6%
11	学校は、お子さんの健康と安全に対する指導を適切に行っている	R7年度 38.4%	53.0%	2.1%	0.7%	5.8%
		R6年度 30.7%	57.9%	3.0%	1.0%	7.4%
12	学校は、食育を通してお子さんのよりよい生活習慣作りに努めている	R7年度 52.5%	42.5%	0.5%	0.7%	3.8%
		R6年度 37.6%	51.8%	3.3%	0.8%	6.5%
13	学校は、感染症対策や病気・怪我等の保護者への連絡を適切に行っている	R7年度 46.5%	46.5%	3.1%	1.4%	2.5%
		R6年度 26.9%	57.3%	5.8%	2.1%	7.9%
14	おさんは、学校を楽しみにし元気に登校している	R7年度 50.8%	40.6%	3.8%	2.6%	2.2%
		R6年度 46.9%	41.0%	7.7%	2.9%	1.5%
15	おさんは、生命を大切にす心や社会のルールを守る態度が育っている	R7年度 38.7%	55.6%	2.7%	0.0%	3.0%
		R6年度 34.7%	59.2%	3.0%	0.1%	3.0%
16	おさんは、「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣が身についている	R7年度 38.7%	44.2%	14.3%	2.6%	0.2%
		R6年度 39.4%	41.9%	14.2%	4.5%	0.0%
17	おさんは、家庭学習に取り組んでいる	R7年度 29.1%	47.5%	15.8%	6.9%	0.7%
		R6年度 28.5%	45.3%	18.3%	6.5%	1.4%
18	おさんは、「テレビ視聴やゲームをする時間」「携帯電話や インターネットの使い方」等について、家庭でのルールを守っている	R7年度 17.9%	49.2%	23.6%	8.6%	0.7%
		R6年度 21.3%	46.3%	23.3%	8.3%	0.8%
19	保護者の皆様は、学校からの文書やメールなどをよく読んでいる	R7年度 32.0%	60.6%	5.5%	0.5%	1.4%
		R6年度 29.2%	59.3%	8.0%	0.7%	2.8%
20	おさんは、英語科の授業に意欲的に参加している	R7年度 25.5%	42.7%	11.0%	1.9%	18.9%
		R6年度 27.8%	46.3%	8.4%	2.2%	15.3%
21	地域・保護者等における子供の見守り活動が充実している	R7年度 30.3%	56.1%	4.3%	1.2%	8.1%
		R6年度 28.8%	57.9%	4.8%	1.1%	7.4%

## (2) アンケート結果を受けて

今年度のアンケートでは、21項目のうち8項目で90%以上の肯定的な回答をいただきました。また、昨年度との比較では、17項目で評価が向上しました。これらの項目についても、さまざまなご意見をいただいております。いただいたご意見は校内で検討し、改善可能な点については今後さらに取り組みまいります。

一方で、肯定的な回答が80%未満につきましては、

### 「3 学校は、いじめのない学校作りに取り組んでいる」(肯定的な回答75%)

「わからない」との回答が20%ありました。本校では、児童が安心して学校生活を送れるよう、いじめの未然防止や早期発見に取り組んでいます。児童の様子をよく知るために、市や県のアンケート(年4回)、学校独自のアンケート(毎月)、児童と担任・保護者と担任との面談を行いました。学校全体での指導では、児童会によるいじめ防止への呼びかけや、各学級ではすべての活動で「いじめは許さない」という姿勢を大切に指導しています。もし児童が不安や悩みを抱えているようでしたら、担任や相談しやすい教職員、本校の「悩みごと相談員」である養護教諭(滝澤・飯島)・スクールカウンセラー(塚本・梅崎)・教務主任(石川)・教頭(齋藤英)へご連絡ください。その他、校長室前に「おはなしきかせてね」というボックスも設置しておりますのでご承知おきください。今後も教職員間で連携を密に取り、組織的に対応してまいります。

### 「17 お子さんは、家庭学習に取り組んでいる」(肯定的な回答77.6%)

学校では、家庭で学習する時間を確保する目的で、ほぼ毎日宿題を出しています。家庭学習の目安時間は「学年×10分」です。家庭学習の例として、日記・音読・視写・暗記・計算・漢字・ローマ字・予習・復習などがあります。3年生以上の児童は、自分の興味・関心に基づき自主学習ノートに取り組むことも多く、天気・偉人・体育・身近な点字・団子・鉄道など、さまざまなテーマを調べてまとめています。ご家庭でも、お子さまがどのように学習しているか見守り、声をかけていただければ幸いです。

### 「18 お子さんは、「テレビ視聴やゲームをする時間」「携帯電話やインターネットの使い方」等について、家庭でのルールを守っている」(肯定的な回答67.1%)

記述の回答から、各ご家庭で様々な工夫や取り組みをされていることがわかりました。小学生向けに、ゲーム・スマホ・インターネットの家庭のルールを作る際には、「守りやすい・話し合える・見直せる」がコツです。親子で一緒にルールを決め(一方的に決めない)、理由をあわせて確認し(安全・健康・生活リズムなど)、守れなかったときの対応も事前に決めておくことや、学年や生活の状況に合わせて定期的にルールを見直すなどご家庭で話し合ってください。

### 「20 お子さんは、英語科の授業に意欲的に参加している」(肯定的な回答68.2%)

「わからない」との回答が18.9%ありました。授業参観の機会が少なく、日常の授業の様子をご覧いただく機会が限られていることが、その理由の一つかもしれません。ご不便をおかけして申し訳ありません。本校の英語の授業は、学級担任とALT(外国語指導助手)が協力して行うティームティーチング体制で実施しています。授業前には、学年ごとにALTと担任が打ち合わせを行い、児童の実態や理解度に合わせた授業内容を計画しています。そのため、授業ではただ英語を学ぶだけでなく、ゲームや活動を取り入れながら楽しく学習できるよう工夫しています。今後も、児童一人ひとりが積極的に英語に触れ、安心して学べる環境づくりに取り組んでまいります。また、保護者の皆さまにも授業の様子を知っていただける機会を増やせるよう検討しています。

## (3) 学校運営協議会委員の皆様からのご意見

- ・児童向けアンケートの結果は概ね良好です。新学習指導要領の理念が見えてきました。今後は今まで以上に学校に託される場が増えてきそうです。学校のさらなる発展に陰ながら力を活かさせていただきます。個別指導から一人一人に合った最適な学び、子ども自ら〇〇を学びたいという関心・意欲を教師がサポートするといった学習スタイルになっていきます。学びに対する考え方を共有させていただきたいと思います。
- ・スマホ・SNSの普及により、問題が外部から見えにくくなっていると思います。問題が深刻化する前に把握することがより大切になってくると思います。教職員のアンケートで校舎内の環境整備について老朽化が進んでいるようですが、危険箇所は早急に対応してほしいものです(教育予算で厳しい面も理解できますが)。
- ・先生方は概ね児童と向き合って指導いただいていると考えております。それはアンケートの保護者の意見に具体的な肯定意見が含まれていることに表れていると考えます。塚田小に限定した話ではありませんが、世の中はデジタル化からAI化へ加速しており、この状況に対し、記憶力や思考力への影響も多数指摘されています。私は児童が体感したことが経験として残り、児童の育成につながると考えています。「字を書く」という動作を含め「体感する」教育に意識を置いていただけるとありがたく思います。
- ・スクールカウンセラーへの相談は少しハードルが高いようです。地域の児童家庭支援へつないだり、外部へフォローを依頼したりする余地があるかと思えます。